

姫路市 避難行動に関するアンケート調査等調査業務

避難行動に関するアンケート調査報告書（概要版）

平成31年（2019年）3月

Ⅰ アンケート調査の概要

1. 目的

平成 30 年7月豪雨時における姫路市民の行動を調査し、実態を把握することにより、現在抱える問題や課題を洗い出し、今後、姫路市の取り入れるべき施策について検討するための基礎資料とします。

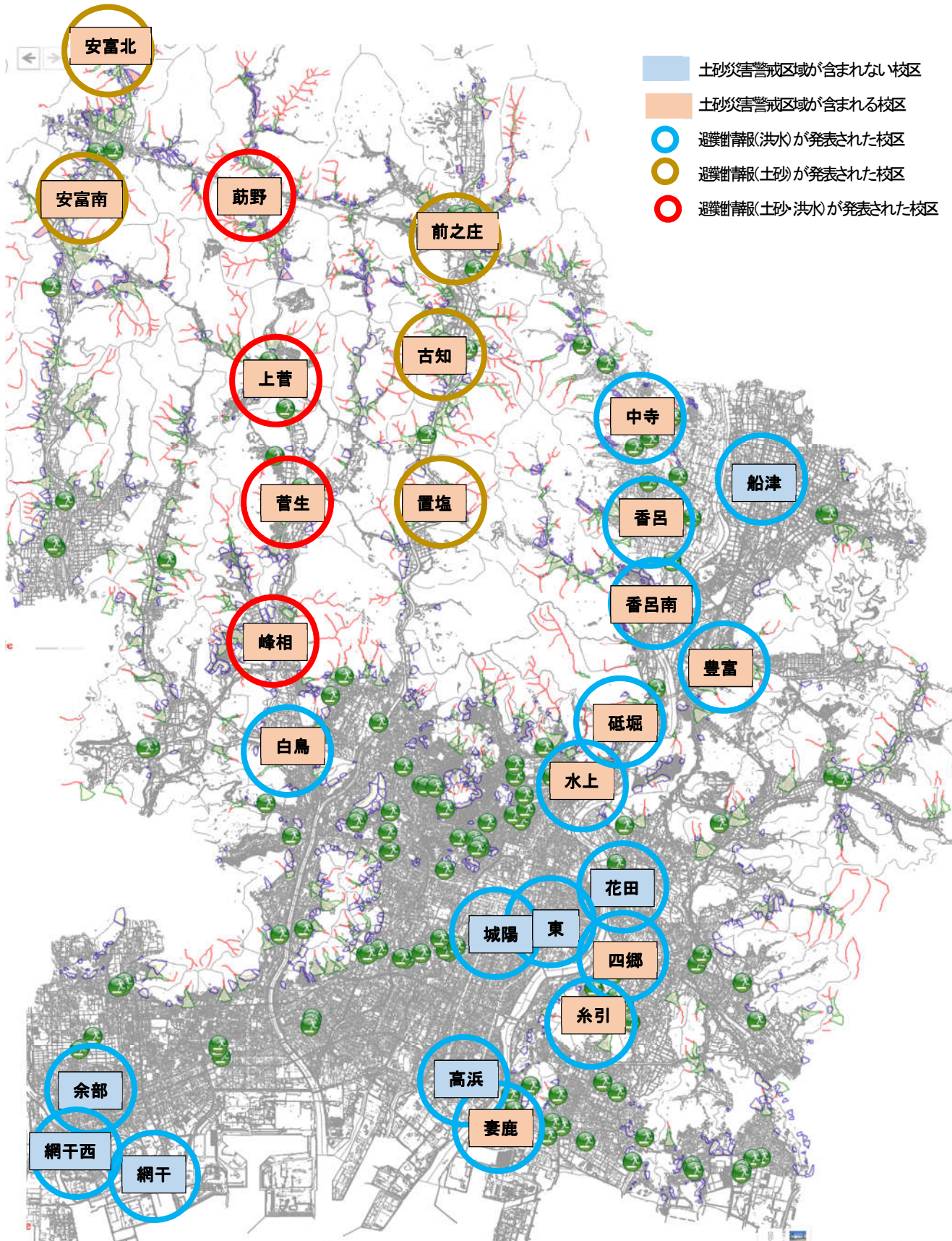
2. 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 地域に関すること
- (3) 平成30年7月豪雨当時（7/5～7/8）の状況
- (4) 日頃の避難行動

3. 調査内容

(1) 対象地域

平成30年7月豪雨時、姫路市が避難情報を発令した校区



(2) 調査対象

対象地域に在住する満18歳以上の男女

(3) 配布数

5,000件

(4) 抽出方法

無作為抽出（平成30年7月1日現在 住民基本台帳より）

(5) 調査方法

郵送配布・回収による郵送調査法

(6) 調査時期

平成31年2月27日（水）～3月12日（火）

4. 回収結果

配布数	5,000件
有効回収数	2,300件
回収率	46.0%

II 調査結果報告

1. あなたのことについて、教えてください

○アンケート回収年齢層

- | | |
|----------------|-------|
| ・18歳以上 ～ 39歳以下 | 24.6% |
| ・40歳以上 ～ 59歳以下 | 28.0% |
| ・60歳以上 | 46.9% |
| ・無回答 | 0.5% |

○住んでいる地域が、どのような区域（浸水危険区域、土砂災害危険区域）か知っていますか？

- ・全体では「わからない」が多く、次いで「浸水危険区域」、「いずれにも該当しない」となっています。20、30歳代で「わからない」との回答が多く、高齢者ほど「いずれにも該当しない」という割合が多くなっています。

2. あなたの地域について、教えてください

○ハザードマップを見たことがありますか？

- ・全体では、「ある」が64.6%、「ない」が33.3%となっています。20、30歳代で「ない」という回答が多くなっています。
- ・「ある」と回答した人の8割以上が、自治会が配布した防災マップで見たと回答しています。

3. 平成30年7月豪雨当時（7/5～7/8）の状況について、教えてください

○あなたの地域に避難情報は発令されましたか？

- ・全体では、「発令されていない」が53.2%。高齢になるほど、「発令されていない」が多くなっています。
- ・「発令されていた」ことを認識している人の避難情報の入手先としては、「テレビ」が最も多く、次いで「スマートフォン」となっています。「テレビ」は全年代で一定数おり、若い世代ほど「スマートフォン」が多くなっています。高齢者では「ひめじ防災ネット」での情報入手が多くなっています。

○実際に避難しましたか？

- 「避難情報に従って避難した」が 0.8%、「自主的に避難した」が 1.6%、ほとんど避難していないと回答しています。
- 避難しなかった理由としては、「避難場所に行くよりも自宅の方が安全だから」が多く、次いで、「実際に災害は起きないと思った」、「自分の地域で、避難に関する情報が発令されているのを知らなかったため」となっています。また、「小さい子供を連れての避難は大変」、「深夜に屋外に出るのが危険」という理由で、自宅の 2 階等にいたという回答も多くなっています。
- 避難所に行こうと思わなかったと回答している人の意見としては、「避難すると避難所があふれると思った」、「スマートフォンで情報収集して大丈夫と判断した」という意見もありました。

4. 日頃の避難行動について、教えてください

○日頃から、防災に関する情報をどのように入手していますか？

- 「テレビ」が最も多く、次いで「スマートフォン」、「インターネット」となっています。

○次の避難情報を理解していますか？

- 避難準備・高齢者等避難開始
全体では、「何となく理解している」が 46.3%、「理解している」が 43.6%。
- 避難勧告
全体では、「理解している」が 47.1%、「何となく理解している」が 46.3%。
- 避難指示（緊急）
全体では、「理解している」が 51.7%、「何となく理解している」が 41.2%。

○市が避難情報を発令した場合は、避難行動を行いますか？

- 全体では、「自身で状況判断してから行う」が 64.3%、「行う」が 27.1% となっています。高齢者ほど、「行う」と回答しています。
- 「自身で状況判断してから行う」と回答した人の半数近くは、「身の危険を感じたら」避難行動を行うと回答しています。

○避難場所などを知っていますか？

- 全体では、「把握している」が68.3%と最も多く、次いで、「何となく把握している」が21.2%となっています。

○避難場所までのルートを把握していますか？

- 全体では、「把握している」が58.6%と最も多く、次いで、「何となく把握している」が24.2%となっています。高齢者ほど、「把握している」が多くなっています。

○避難場所までのルートの危険箇所を把握していますか？

- 全体では、「把握している」が36.1%と最も多く、次いで、「何となく把握している」が31.8%となっています。若い世代ほど「把握していない」が多くなっています。

○指定緊急避難場所は、災害の種別によっては利用できない場合があります。確認したことがありますか？

- 全体では、「確認したことがない」が73.6%と多くなっています。
- 若い世代ほど、「確認したことがない」の割合が高くなっています。